

中野島つながり愛プロジェクトの取組み

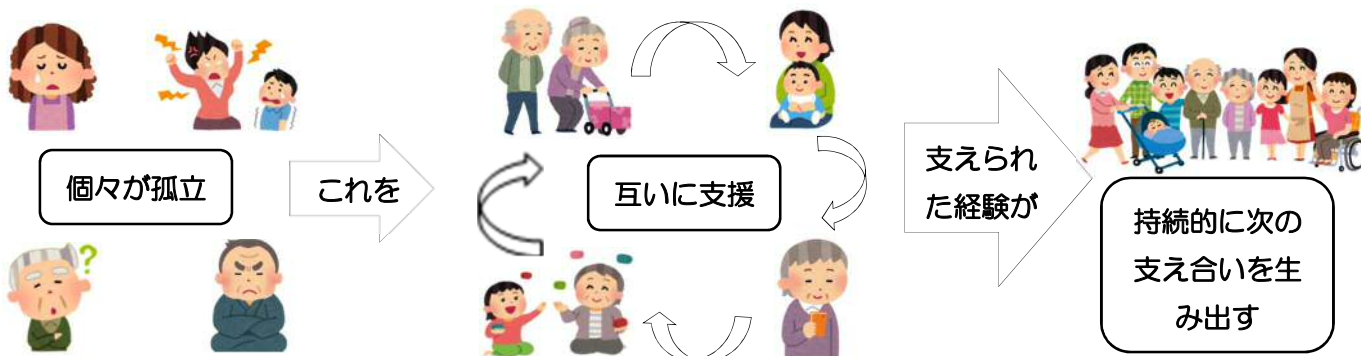
～多世代の支え合いが続く、地域コミュニティの実現に向けて～

多摩区地域みまもり支援センター

1 目指す方向性

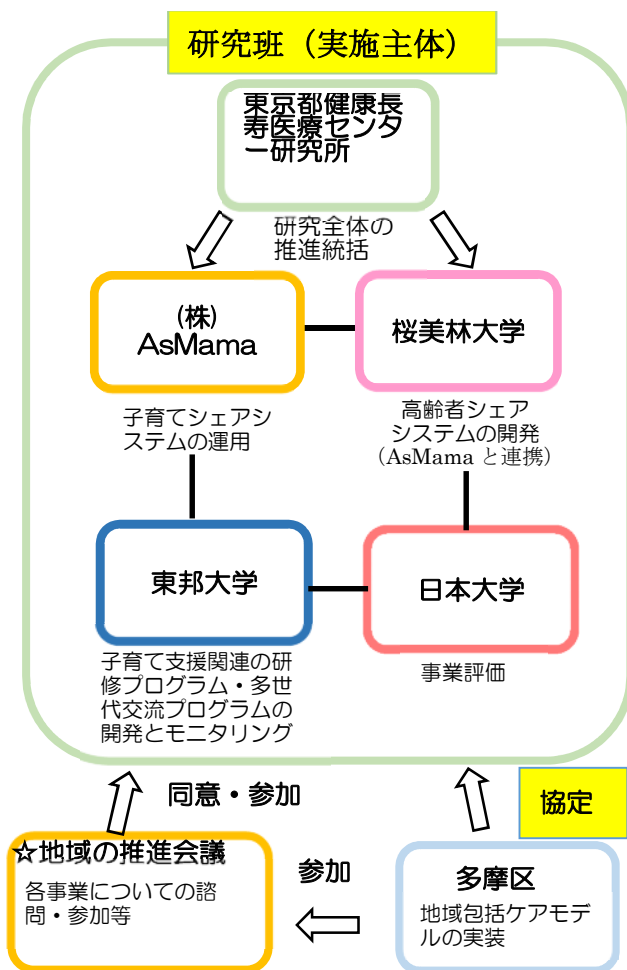
川崎らしい都市型の地域包括ケアシステム（子どもから高齢者まで）の具現化

高齢者世代が子育て世代をサポートし、子育て世代が高齢者世代を支えるなど、世代を超えて繋がりあう関係が継続していく地域コミュニティの実現。



2 実施体制

協力協定の期間 平成 28 年 3 月～平成 30 年 9 月



☆町会役員・民生委員・地区社協役員・商店街役員・NPO団体・包括支援センター・地域の関係機関・ボランティア等

3 研究事業の内容

多摩区は東京都健康長寿医療センター研究所（以下「研究所」という）と協定を結び、中野島地区を研究エリアとして「重層的な地域多世代共助システムの開発」に協力をし、研究所が統括する。研究班は、中野島地区において次の研究事業を行う。

① 多世代挨拶運動（世代間の緩やかなサポートネットワークの形成）（平成 28 年 6 月開始）

・小中学校生徒によるキャンペーンマーク・あいさつ標語の募集。中高年・子育て世代・子どもの緩やかな交流とつながりの醸成。

② 多世代交流の場の立ち上げと継続（平成 28 年 12 月開始）

・多世代交流サロンやプログラムを通して相互援助等につながる出会いの場づくりと多世代間の交流促進。

③ 多世代型生活支援システムの支援

・支援・サービスを提供する「くらしサポーター」の養成。（平成 29 年 1 月開始）

・（株）AsMama の Web システムを活用した高齢者と子育て世代の生活支援サービスの相互提供を可能とする仕組み作り。（平成 29 年 2 月開始）